

## 紀要の発行に当たって

学長 川 上 亀 義

このたび本学において、研究紀要の発行をみるにいたったことは、まことによるこばしいこととであります。

つねに学びつつある者のみよく人を教えることができると言われていますが、特に、大学においては専門的分野を深く掘りさげ、教育効果を高めるとともに、学問の進歩に貢献していかなければならないこととあります。このことについては、本学の教職員はよく認識され、教育と研究にたいし調和的に精進し、すぐれた成果を挙げられているところであります。

これらの研究成果は、関係学会誌や川崎学園医学会誌等に掲載発表してきましたが、その数は限定されますので、多くの優秀な研究のまとめが公表できない状況にありました。これはまことに残念なことで、せめて短大独自の研究集録をと努力した結果、学園や短大協会のご理解を得て、その第一輯を発刊する運びとなりました。

ここに、研究論文を寄せられた教職員及び編集の労をとられた委員の皆さま、さらにこの発刊のため、温かいご援助をいただいた学園理事長、短大協会にたいし、心から深甚な謝意をささげるものであります。

この企てが短大内に一層の研究意欲をもち上げる刺激となり、また、広く関係方面に参考となり、お役に立つようであれば、幸甚これに過ぎるものはないと思っております。

昭和57年3月25日